

## 令和7年度 第1回倉沢人形歌舞伎調査委員会

### 1 開催日時

令和7年7月30日(水) 午後2時～午後3時34分

### 2 開催場所

花巻市博物館 講座・体験学習室

### 3 出席者

#### (1) 委員 7名

大谷津早苗委員 (昭和女子大学教授) ※リモート参加

木戸口俊子委員 (岩手県立盛岡農業高等学校教諭)

中村良幸委員 (花巻市文化財保護審議会委員)

中嶋奈津子委員 (花巻市文化財保護審議会委員)

菊池峰雄委員 (倉沢人形歌舞伎保存会代表)

下林育男委員 (倉沢人形歌舞伎保存会事務局長)

松橋香澄委員 (花巻市博物館学芸係主任)

#### (2) オブザーバー 2名

橋本かおる (文化庁文化財第一課芸能部門文化財調査官) ※リモート参加

大沢勝 (岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課文化財担当主任指導主事)

#### (3) 事務局 3名

文化財課 上野剛課長、伊藤真紀子課長補佐、佐々木勝也係長

#### (4) 傍聴者 なし

#### (5) 報道関係 なし

### 4 内容

#### (1) 協議

ア 調査事業の経過報告について

イ 令和7年度の調査方針について

#### (2) その他

### 5 議事録

#### (1) 開会 (進行: 伊藤課長補佐)

[倉沢人形歌舞伎調査委員会成立報告 委員7名中7名出席]

[オブザーバー2名を紹介]

## (2) 挨拶

(上野課長)

皆様、文化財課長の上野でございます。本日はお忙しい中、また連日厳しい暑さが続く中、当調査委員会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。

昨年度立ち上がりとなりました当調査委員会でございますけれども、昨年度は倉沢人形歌舞伎の定期公演に合わせて、基礎的な調査を行ったところであります。今年度からは本格的な調査の方に入って参る計画となっておりますことから、委員の皆様におかれましては、ご協力方どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて本日でございますけれども、昨年度の調査の結果についてご報告を申し上げた後に、今年度の調査方針について皆様にご協議いただく予定となっております。それぞれのご専門の見地のみならず多様な観点から、忌憚のないご意見を賜りながら今年度以降の調査事業を加速して進めてまいりたいと考えてございますので調査への取り組み方どうぞよろしくお願い申し上げます。

(伊藤課長補佐)

それでは、協議の進行につきましては本調査委員会設置要綱第4条第2項の定めにより、委員長をお願いいたします。大谷津委員長よろしくをお願いいたします。

## (3) 協議

ア 調査事業の経過報告について

(大谷津委員長)

皆様ご無沙汰しております。遠いところから失礼いたします。まだ大学は授業があるものですから、伺えずに申し訳ございません。

花巻市の教育委員会様には、実は大変今お世話になっておりまして、本田安次資料展という展覧会を本学、昭和女子大学にて開催中でございます。本田安次の研究の出発点である山伏神楽と法印神楽の写真資料を花巻市教育委員会様より提供いただいて今、展示をしているところでございます。ご協力、誠にありがとうございます。展覧会も非常に好評でして7月5日に芸能学会のセミナー「本田安次の芸能研究」というセミナーがあったのですが、来場者が100名以上いらっしやって、橋本調査官にもお出まししていただきました。そういった大勢の皆様を知っていただける機会となったことは私としても嬉しいことだなというふうに思っております。改めて御礼を申し上げます。

もう一つは、この倉沢人形歌舞伎の調査委員会と同時並行して、私事で言いますと、神奈川県相模人形芝居というものがあるのですが、相模人形芝居の記録作成のための委員会というのも同時進行で令和7年度からスタートしております。全く並行して同じように進んできていて、5月に第1回の委員会があったところでございます。こ

れも準備期間2年を経てようやくスタートして、スケジュールは全く同じで令和9年度に報告書を刊行するという形です。私としては二つ並べて、しかも委員長を仰せつかっておりまして、二つ走らせていくことはなかなか厳しいなとは思っているのですが、両方助け合えるといいますか、プラスになる部分もあるのではないかとこのように考えておりまして、相模の知見をこちらで生かす、こちらの知見を相模で生かすというような形で、補完し合うような形でより良いものができたらいいなというふうに、そこを目指して進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は協議事項が2点ございます。初めに（1）調査事業の経過報告についてということで事務局よりご説明をお願いいたします。

[佐々木係長より資料No.1、資料No.2、写真資料について説明]

[協議]

(大谷津委員長)

事務局からご説明がありましたが、調査の経過報告ということでございましたけれども、特に協議ということではありませんが何かご意見、ご感想等がございましたら委員の先生方、忌憚のないご意見をよろしく願いいたします。

実際に調査をしてくださった中村先生、どんな感触でございましたか。少し伺わせていただけますとありがたいと思います。

(中村副委員長)

かなり急いで写真は撮りましたけれども、結構なボリュームがありました。ただその中で、実際に人形歌舞伎に関係したものがどれくらいあるかというのもチェックしかなるくらい量がありましたので、その辺も写真を見ながら整理しなければいけないなとは思っていますけれども、かなりのボリュームでしたので報告書に書いてあるとおり、やはり専門の人にチェックしてもらわないと駄目かなという感じはしました。

いろいろな写真が入っていますけれども、公演をして歩いたときの金銭の授受などもきちっと残されていますので、そういうところも結構その人形芝居として歩いていた経緯がよくわかる貴重な資料だなという気はします。これ全部を解読して、全部載せるというのは難しいかなと思いますが、この中から必要部分、重要な部分を選択していけばいいかなという気はしております。

(大谷津委員長)

台本類と記録と日記と大福帳などという大まかな分類はしていただいているので、何となくわかってきたのですが、多分どれも貴重なのだと思っておりますが、使い方が

違うかなと。

ただ、やはり全体像は示す必要もあるだろうというふうに思いました。大福帳とかだと金銭の授受とかに関係するのかな。記録とか日記類というのはどういったものでしたでしょうか。

(中村副委員長)

それについても細かいことは見ていませんので、どれほど細かい日記であるかというのはわかりませんが、かなり丁寧に書かれた部分もありますので、その辺はきちっと調べる必要があると思いますし、全部載せるのは本当にボリューム的には難しいのですが、内容的には非常に貴重なものが多いので、これは記録の仕方でも全部を載せる部分と、内容の重点だけを載せる部分と、記録として載せる部分と、いろいろあるとは思いますが、まだ全部を私も見ていませんのでその辺は今ここでは詳しいことは申し上げられないです。

(大谷津委員長)

だいぶ感触としてはありがたい感触をいただいています。それぞれに記録ですとか日記とかは活動であるとか歴史に関わるようなことであろうと思いますし、台本類はその上演であるとか人形歌舞伎自体に関わる部分であろうと思いますので、それぞれ内容を生かす形で報告書に取り込めるのが望ましい。そうすることで今まで見えなかったことが見えてきたり、新しい人形歌舞伎の姿が示せると思いますのでぜひその内容は反映したいというふうに思います。

ただ、お一人だと厳しいので、記録類ですとか台本類ですとか、分けてそれぞれの調査員に分担いただくのが無理のない形ではないかなというふうに感触としては思っております。

相模人形芝居の場合も台本類と音曲的な部分、それぞれを別の人がやっていて、記録類はまた別の人に担当してもらったりもしていますので、ここは人員補充して別の人にそれぞれやっていただくということもご意向いただいた方がいいかなという感触を持ちました。こちらにも古文書の専門家に応援を頼むなどが必要かもしれないということは書いてございますので、まさに賛成でございます。事務局に一つお考えいただければなというふうに思います。

他にございますでしょうか。何かご意見等ございましたら、忌憚のないところをお願いいたします。

この文書(もんじょ)の写真は100点を表紙だけではなくて、中身も含めて全部撮ったということですか。

(中村副委員長)

中身も撮ってあります。ただし、後半の方に出てきたものに関しては、ちょっと違うかなというような資料もあったのですが、その分は表紙類ということで表紙の部分だけ撮っておりましたけれども、それ以外の台本のようなものや大福帳のようなものは全部、写真を撮りました。

(大谷津委員長)

それはありがとうございます。大変なことだと思います。

(伊藤課長補佐)

補足させていただきますが、写真資料の1枚目の一番左上に表紙があるのですが、2段目の右端にまた表紙みたいなものがあります。ここまでで1冊分のうち真ん中で数ページ撮っているというようなことになっていましたので、1冊につき表紙とプラス2、3ページという撮り方をしてございます。そういう冊子というか、ちょっとボロボロになっていて本のうち、パーツで数ページしか残っていないようなものの中にはあったように見受けられましたが、一番最後の方に行っていただきまして、人形類などが少し写っているページの一つ前に、小さい青いノートみたいなものがいっぱい集合体である写真があると思います。これが多分、初代の常次郎さんの個人日記が残されているのですが膨大にありましたので、まず点数だけ把握しようということで表紙だけ撮っています。中身は普通の、いわゆる市販の日記帳に1月1日に何々とか、2月3日何々みたいな感じで書くようなタイプの日記帳だったという記憶があります。なので、この辺は読み解いていないです。

あと「豊受日記」というのが大福帳になるので、例えば昭和32年の活動の記録とかというのをこの中から読み解けば、どこに行ったとか、いくらもらったみたいなものが書いてあると思われるのですが、これも中までは読み解いてはいないという状況になります。

(大谷津委員長)

大変貴重な資料だと思います。年代を見ると、昭和30年代あたりの文字が見えるのですが、一番古いところではどのくらまで遡ってありましたか。

(伊藤課長補佐)

現地では詳しく確認していませんのでわかりません。この写真から読み取る状況になるので、昭和30年代ぐらいはあるのは見えますけれども、それ以前になると不明となっております。

(大谷津委員長)

昭和10年代とか20年代もちろほら見えたりもしているんで、そうすると戦前まで遡れるので、こういうものをもとに活動の年表等ができるといいなというふうに思った次第でございます。

あと台本等は、普通のという言い方は変ですけども、三人遣い等で用いている版本なども見受けられますし、手書きのものもあって、あとは持ち主の竹本誰それさんとか、そういう太夫さんのお名前等も見えるので、やはり音曲的なところは調べてもらった方がいいのかなというふうに思いました。ですので、やはりそれぞれ分担して調査研究に当たっていただくのが望ましいなというふうに思っております。また、その役割分担等をご相談できればというふうに思いますけれども、ご同意いただけましたら具体的にどなたにお願いするかといったことも相談していきたいというふうに思っております。

他に先生方から、ご意見等ございますでしょうか？無いようでしたら、2つ目の協議事項に入ってもよろしいでしょうか。

(意見等なし)

イ 令和7年度の調査方針について

(大谷津委員長)

今度は(2)令和7年度の調査方針についてということでございます。事務局よりご説明をお願いいたします。

[佐々木係長より資料No.3、資料No.4について説明]

(大谷津委員長)

それでは協議に入りたいと思いますけれども、まず順番では調査の項目とか、調査の時期が最初に書かれてありますけれども、調査に関係してくることから、初めに公演のご予定を菊池委員と下林委員より確認させていただきたいと思いますがいかがでございましょうか。

(菊池委員)

今年度の予定は全く今のところはありませんので、定期公演のみの予定です。

(伊藤課長補佐)

成島の話も聞いていましたが、どうですか。

(菊池委員)

成島も確定ではございません。あるかもしれませんが、いつもだったら11月初めです。

(大谷津委員長)

今、聞き取れたのは定期公演のみが確定だというふうに伺いましたけれども、11月23日でしたよね。

(伊藤課長補佐)

はい、11月23日に倉沢の人形歌舞伎伝承館で例年やっている定期公演は確定です。もう1つ東和地区の地域コミュニティで秋の文化祭によく呼んでもらっている活動がありますが、それについてはまだ正式に依頼はないですが、例年ですと11月上旬に東和地区の成島振興センターの文化祭に招待してもらって公演しているというのがここ最近の通例なので多分、今年もあるかなという予定だそうです。

(大谷津委員長)

どちらにしても11月ということですよ。定期公演が23日で、秋の文化祭のご出演が11月上旬ぐらいということで、第何日曜とか土曜とかそういうのは決まっていますか。

(伊藤課長補佐)

だいたい第1週か第2週の土日だと思います。

(大谷津委員長)

第1週か第2週の土日あたりで文化祭にご出演の可能性があるということで、今年度はこの2回ということだそうです。

これも一番大事だとは思いますが、それ以外でいろんなことを調査させていただく必要があるかなと思います。というのは3か年の計画で今年度が勝負というところですよ。今年度から来年度が勝負というところですから、ぜひご苦勞をお掛けするとは思いますが、なるべく個別に調査をお願いする形になるかなというふうに思います。

今後の調査スケジュールとか進捗の管理だとか、そういったことを事務局の方でも把握しておきたいとか、計画を立てたいということですので、それぞれの調査委員の先生方にはご予定等お知らせいただきたいというふうに思います。

事務局等への依頼であったり意見等でも全然構いませんので、よろしく願いいたします。各先生方からお一人ずつお願いできますでしょうか。

(中村副委員長)

まず最初に、先ほど写真で撮っています台本などを文化財課の方でコピーを取らせてもらうかして全部揃えていただいて整理しないと、なかなかこちらの方が進まないような気がしますので、写真は撮ってあっても全部ではないので、きちっとコピーを取るなり、お借りして写真を撮って全部映すなりして、どんな項目があるかをきちっと整理をする。まずそれをやらないと進まないような気がします。

あと公演の方では、行って人形の扱い方とかそういう物とかというのは、公演の前に行ってお聞きすることはできると思いますけれども、やはり一番ボリュームがあって大変なのはこの文書（もんじょ）類だと思うので、早急にコピーを取るなりして資料を揃えて、それを分ける作業が一番大事かなという気がします。その作業が進み手分けすれば、かなり進み方が見えてくるのかなという気はしています。

(大谷津委員長)

報告書の構成も示していただいていますので、それに沿って進めたいということになるかと思うのですが、中嶋先生と中村先生とご協力されてということになりますか。

私は目次を決めることが先決だろうと思っていて、そうすると役割分担もはっきりして具体的に誰が何をやるのかということが明確になるので、そこからかなとは思っているのですが、いずれにせよ文書（もんじょ）と、用具類の整理とか舞台であるとか、あとは芸態といいますか使い方。それぞれ、それなりのボリュームがありますから、ここはやはり役割分担をしてというふうに思っています。

ですので、台本には調査予定を聞いてくださいみたいなことが書いてあるのですが、ここからだとなかなか難しいかなというふうに実は思っています。

それで、報告書の構成を固めるために今回、資料を一点、直前なのですけれどもお配りさせていただいたところです。できれば私としてはそこをより固めていきたいとか、決定ではないにしてもかなり確実なものにしていきたいというふうに思っています。それに対していかがでございましょうか。その前に何でも、それ以外のことでもご意見等があればご発言いただければというふうに思いますがいかがでしょうか。

(中嶋委員)

今、中村さんがおっしゃったように、かなり複数の文書（もんじょ）があるということで貴重なもののようなので、その分析はしなければならないのだろうなと思いつつ、だいぶそれは時間がかかると踏んでいます。それ以外のことで、例えば舞台のあり方とか、お人形の使い方とかそういったことも、例えば私なんか未だわからない状況ですので、そういったお人形の構造とか、もし壊れたときにはどうやって直すとか。

か、そういう現状のことなども含めて、あるいは近い歴史での聞き取り。文書（もんじょ）も昭和のものが多いようですけれども、昔のこともわかればいいのですが、比較的近い昭和の時代とか、今までの先達の方々がどのように活動されてきたかという、わかる範囲で聞き取ることはいくらか早くできるのかなというふうに思います。

文書（もんじょ）は残念ながら読めない方なので、できることから皆さんのご記憶の中で割と最近の記憶も含めて、聞き取りをさせていただければいいのかなというふうに思います。

個人的には9月いっぱいぐらいまでは、なかなか混み合っていますので、秋口から調査に入らせていただければなというふうには考えています。以上です。

（大谷津委員長）

前回の会議でも、ぜひ聞き書きをとということが出ていたと思いますので、そういったことをぜひ進めていただけたらなというふうに思います。それは活動の内容もそうですし、あとは使い方ですとか、あとは演技の工夫ですとか、いろいろな観点がございいますので、そういったことも含めて一回とかではなくて何回も聞いていただくとありがたいというふうに思います。それは何らかの形で資料になりますし、報告書に反映できるかというふうに思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

他の先生方いかがでございましょうか？

（木戸口委員）

私の場合は倉沢人形歌舞伎の歴史についてと系譜についてということで、これまで調べていたものにプラスアルファでもう少し調べられればいいかなと思っております。

個人的には県立図書館などに行って、古い何気ない、きちっとした文献ではなくて各市町村のちょっとした昔の「たより」のようなものにも、こういった公演をやったとか昭和の戦後間もない頃のものが書かれてあったりしている場合があるので、そういったものをちょっと集めたりしているところです。

あと、やはり先ほどの文書（もんじょ）の中には表紙だけではなく、裏の方に先ほど委員長もお話されていましたが、誰の持ち物なのかということで、確か前に調べたときに、広瀬人形芝居の方の台本などには、やはりこちらの倉沢人形歌舞伎さんの関係する名前が入っていたりとか、さらにその前の水押人形芝居の人の名前が入って、それに線が引かれて次の人に渡されているというふうな、そういった系譜が台本一つとっても見えるところがあるので、ぜひ膨大な台本の中にそういった部分でもしかすると隠れているのではないかなというふうに思っていますので、そこについては私もすごく興味深く思っているところです。

そういったところを合わせて、この歴史について、系譜についてというところを改めてまとめ直したいなというふうに感じております。

時期的には、やはり私自身も秋ぐらいかなというふうに感じております。以上です。

(大谷津委員長)

ぜひ、そういう台本も木戸口先生、お手数ですけどもご覧いただいて、そういった流れとか展開とかをお示しいただけますと新しい知見としての関係性とか展開とかが見えてきますので、さらに良い知見が導き出せればと思いますので、ぜひよろしくお願いたします。

そのためにも一次資料は共有して皆さんで見られる形にさせていただくことが必要かと思しますので、事務局にはぜひその辺をご考慮いただきますようお願いいたします。ドライブに入れていただいて皆で見られる形でもいいですし、それぞれ何かお送りいただく形でもいいかと思しますのでよろしくお願いたします。

前回始まったときには雲をつかむようなというか、全く未知の状態だったのですが、ご苦勞をおかけしたと思うのですが一度こうやって資料調査をしていただいたおかげで次の展開が見えてくるものがあって大変ありがたいなというふうに思います。これを生かす形で、新たにいろんなものが示せばいいですし、それが反映できている報告書を作りたいというふうに思います。

事務局からは今のことに関して意見はございませんか。

(伊藤課長補佐)

写真類に写っている文書（もんじょ）類を早急に全ページ、コピーを取るようというご指示でしたので、近いうちに借用させていただければと思います。保存会の方にご連絡差し上げますので借用についてよろしくご協力いただければと思います。かなり多いので、少しずつ分けてできたところまでという感じで共有させていただいた方がいいかなと思しますので、数回に分けて出来たところまで写真なりコピーを取ったところまでというところで、皆様の方に流させていただきたいと思します。

(大谷津委員長)

そういったデータ整理の作業もなかなか手間もかかりますし時間もかかりますので、もし可能であればどなたかアルバイトのような形で助けてもらえるような人が、予算的なものもあるかと思しますが確保できるのがいいかなというふうに思します。

事務補助員というような形になるかと思うのですけれども、やはり大勢の人が関わった方が効率がいいですので、そういったところもご考慮いただければというふうに思します。難しいということであればまた違う方法を考えたいと思しますが、いっぱい抱えてしまうと大変で、なかなか進みませんのでぜひよろしくお願いたします。

(伊藤課長補佐)

事務局から皆様にお聞きしたいのですが、まず最初にこれをコピーして欲しいみたいなものはありますか。大福帳から最初に欲しいとか、台本から最初に欲しいとか日記から始めてほしいとか。

(中村副委員長) (木戸口委員)

日記が欲しいです。

(伊藤課長補佐)

わかりました。日記ですね。1年で365ページありますけど、あれどれぐらいまで書いていたか覚えていらっしゃいますか。真面目に全部書いていなかったような気がするんですけど。はい、頑張ります。古い方からの方がいいですよ。

(中村副委員長)

コピーと写真どちらがいいですかね。

(木戸口委員)

日記はコピーでいいのでは。

(大谷津委員長)

他に事務局へのご要望があればどうぞお伝えください。

(木戸口委員)

台本は墨なので、コピーより写真の方がいい気がします。薄い濃いによって、どこから先に書いたかがわかるので。

(伊藤課長補佐)

最初の方に写真を撮った古い墨で書いているようなものは、コピーではなくて写真を撮ってほしい。日記みたいな鉛筆で書いているようなものはコピーでもいいという感じですね。墨の濃淡が見たいから写真で撮って欲しいと。

(木戸口委員)

文字がぐちゃぐちゃとしている場合があるのですが、そういったものはコピーよりも、むしろ写真で引き伸ばしたりする方が見える場合があるので。

(伊藤課長補佐)

拡大できるからということですね。わかりました。

(大谷津委員長)

写真データで共有してもらうのが一番いいかなと思います。

(中村副委員長)

先ほど木戸口さんが言っていましたとおり、日記はやはりコピーが絶対いいと思う。あとは写真の方が多分、情報共有しやすいと思います。PDF か何かにしてもらって、いっきに見られるのでそれだといいいかなという気がします。コピーだと、いちいち全部見たい人にやらなければいけないですけど、PDF にしていれば見たい部分だけ見られますので。

(伊藤課長補佐)

誠意努力します。

(中村副委員長)

報告書の構成について、台本等など読んだものをどの章に振り分けていくかとか、あるいは例えば6章の他に資料としての項目がないと多分入りきれないような気がします。この辺をもう少し協議して、第5章のところの現在の演目と脚本ということで、菊池委員さんと下林委員さんをお願いしているのだと思いますけども、やはり古い方の台本や脚本については別章を作るか、あるいは何か一つ項目があった方がいいのかなという気はしていますので、その辺の担当もそのうちに決めてやっていった方がいいかなという気はします。

(大谷津委員長)

私が先ほどから先走って申し上げているのですが、やはり報告書の構成が何と言っても元で、ここを練り上げて、それで分担をした方が明確になると思います。だから、これがあった方がいいというようなことは、どんどん意見を出していただいた方がいいと思っております。

粗々で本当に柱だけなのですが、これをどういうふうに分けていくかですとか、やはり過不足がありますので、今、中村先生にご発言いただいたように、演目の台本をどうするかということで、あとは構成要素。第4章に構成要素というふうにとまとめているのですが、実は構成要素はいっぱいあって舞台であるとか人形であるとか、たくさんあるので、こういうふうにとまとめていいかどうかというところが一つあります。

参考になるかと思って急遽、令和元年度なのですが尻高人形という群馬の櫛人形の報告書が出ていまして、形態としてはこれが一番近いかなと思って報告書の目次だけお送りしております。章立てとかは違っても、この要素がどこかに入っていればいいなというふうに思っております。

これと比べたときに何が足りないかというのと、尻高人形の目次を見ますと第1章のところで、地域環境の項目が出てきています。群馬県吾妻郡高山村の概観ということで、伝承地の地域環境の自然環境であったり社会環境であったり、だから伝承基盤っていうところで、生業とか人と人々の暮らし、暮らしの中でこの人形歌舞伎は人々の生活の中で展開してきたものですから、人々の生活がどういう暮らしなのかって言うようなことが大前提にあるということで第1章に持ってきてあります。やっぱり私はこれが必要なというふうに思います。

他の報告書でも九州の神楽の報告書等でも伝承基盤というような項目を最初の方に設けておりますし、相模人形芝居の方でも神奈川の伝承基盤ということで地域の状況を書く章を設けております。

これが一つ足りないということと、あとは音楽的なことです。第2章の尻高人形のところで、5節には「義太夫節と人形遣い」ということで、義太夫節という音楽的なところも項目立てしております。構成要素の中に入るとは思うのですがけれども、そうすると構成要素がすごく溢れかえってしまうからどういうふうに中を区切っていくか。ただ、やはり要素として、これは必要だろうということです。

そうしますと、先ほどの台本などの記載のところで節付けがあったりとか、あとは太夫さんの名前があったりということで義太夫節の系譜、東京との関係とか横の近隣との関係とかもそれも出てくるかなというふうに思います。

あとは人形の使い方、装着の仕方ですとか構造ですとか、そういったことは必須ということになります。近年の活動を割と大きく取り上げていて、定期公演とか臨時公演とかということ。あと用具類の整理。小道具とか頭の整理、衣装の整理もされています。

第7章になると県内の同類の人形芝居の状況が出てきておりますけれども、これは木戸口先生が書いてくださる部分で、よりもっと歴史的な関係性とかも見えてくる内容に多分こちらの報告書はなるのではないかなというふうに思っております。

ですので、音楽的なところと、あとはこの自然環境の部分というところをどうするかというところをご協議いただきたいというふうに思います。いかがでしょうか。

(伊藤課長補佐)

市史をやっている博物館にお伺いしますが、花巻市全体のものになると思うのですが、この第1章的なものは何か作られていたりしますか。博物館市史編さん室の方で。

(中村副委員長)

まだ市史はできていませんし、動いてないので何とも言えませんが、この高山村というのは、そのエリアということになると昔の倉沢村という単位で考えればいいということでしょうかね。

(大谷津委員長)

そうですね。

(中村副委員長)

どの大きさの地区でやるかになりますけれども、多分これは書けないことではないので、市史を見るまでもなく自然環境とか交通に関しては書けると思います。第1章は博物館の方で松橋と私と協力してやりたいと思います。

(大谷津委員長)

こんな感じで自然環境の写真とかも載ったりもしていますので、ぜひ伝承基盤の部分をお願いしたいと思います。ありがとうございます。

あとは音楽的な要素も前回からも私が提案しているのですが、どなたかに頼んでもらうということもありかと思いますが、いかがでしょうか。事務局のお考えとしても必要があるかっていう、調査に関して研究所者の委員就任が必要かというふうに投げかけられておりますが、先生方がいかがでしょうか？

(伊藤課長補佐)

写真を撮ってきた中に、義太夫の台本というか語りみたいなものが何個かあったようなので、この辺を整理させていただきたいです。前回の委員会の中で、割と定例の義太夫をそのまま流入して大きく変化がないのであれば、専門で特別章立てて、詳細に誰か先生頼んでやってもらう必要はないのではないかなというお話があったと思います。ただ、倉沢独自の何か変化みたいなところがあれば、改めて先生をお願いして調査した方がいいと思いますというような結論だったかと記憶してございますが。

(大谷津委員長)

私もそうだったと思います。見せていただいた写真の中にはそれらしきものが見えたものですから、一度誰かに見てもらった方がいいかなという感触は持っております。

委員にするかどうかというところは別に、一度調査を誰かに頼んでもいいかなと。誰というのは、私の範疇では専門家の人は頼めそうな人がいるのですけれども、もし委員会がそれをお認めいただくことができれば依頼はできます。ただ、受けてくれるかどうかはわかりませんが、そういう方向は一つ有りです。

(伊藤課長補佐)

わかりました。改めて内容をもう一度詳しく調査しまして、大谷津委員長の方に事務局からご相談させていただきます。誰か委員まではいかなくても、特別にこの部分だけお願いするっていうことは十分可能だと思いますので、ちょっと詳細についてはまた改めましてご相談させていただきたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(大谷津委員長)

はい。できればその人に見てもらった方が実はよくて、調査から関わってもらった方が見どころが違う可能性もあるので、精度を上げるとすると送稿の方がいいかなと思いますけれども花巻市のお考えもあると思うので、その辺はまたご相談させていただきたいというふうに思います。

前回の会議で出た、古い写真とか映像資料の収集の具合はどんな感じですか。事務局にお伺いしております。

(佐々木係長)

お話をいただいておりますが、正直なところ全然まだ動けておりませんでしたので、そちらも早急に取り寄せたり確認したいと思います。

(大谷津委員長)

よろしく願いいたします。これも他例で恐縮ですけれども、それこそ戦前の写真とか、映像とかも歴史を物語る大事な部分だと思いますので集めていただきたい。集める方法としては、市の広報みたいなもので呼びかけるとか、割と市の力がものを言うという取り組みが力を発揮する部分であると思うので、ぜひその辺はできる範囲でお願いしたいかなというふうに思っております。

もちろん倉沢人形歌舞伎の関係者は昔から見ているというような、そういう地元の人たちに個人的に伺ってもらおうというのも大事だとは思っているので、ぜひよろしく願いしたいというふうに思います。

先生方、他にいかがでしょうか？

私が提案させていただいた項目に関して、伝承基盤の部分と後は義太夫節の方も項目として入れるということでご了解いただいたということですのでよろしいでしょうか。

(異議なし)

それを含めてですが、第6章のまとめの部分は多分もっと厚くなると思います。例えば木戸口先生がいろいろ系譜の面で新たな展開とかが出てきて、特筆すべきことが出てきたらこここのところに入ってくるでしょうし、音楽的な特色があればここに入っ

てくるでしょうし、用具類とか他にも特徴があればここに入ってくると思います。

なので一節だけでまとめきれんかという、なかなか難しいかなというふうに思っておりますので、ここはもう少し厚くなるように思います。

そこを今、確認させていただいて一度私の方で今の意見を反映させて、原案を作らせていただくということよろしいでしょうか？もし、お認めいただけるようですと事務局と相談しながら、より練り上げた原案を提出させていただいてご審議いただくというような形をとりたいと思いますがよろしいですか。

(伊藤課長補佐)

皆様うなずいてらっしゃいますので、よろしく願いいたします。

(大谷津委員長)

事務局もそれでよろしいでしょうか？

(伊藤課長補佐)

はい、結構でございます。

(大谷津委員長)

そうしましたら一度、尻高人形の報告書と突き合わせて、あと他の八王子ですとかいろいろな報告書と突き合わせて、より新しい場面で作るので、バージョンアップしていきたいと思っておりますので、今回新たに考えさせていただいてご承認いただくようにいたします。

他に先生方でご要望等ございますか。

要望ばかりで、事務局にいろいろと求めることばかりで申し訳ないのですが、最初に出ていた今後のスケジュールですが、これはもう少し詳細になりませんかというところでは。

この令和7年度から8年度、9年度という最後のところまでのスケジュールを、このあたりで原稿提出をするとか、ここまで調査をして、ここからは補充調査だとかもう少し詳細なスケジュール感が見える形になった方がいいかなというふうに思います。

(佐々木係長)

以前の石鳩岡神楽・土沢神楽の調査報告書のスケジュールを参考にしまして、突き合わせて今後の部分についても盛り込んで資料としたいと思っております。

(大谷津委員長)

同時進行で動いている相模の方のスケジュール感も参考までに後で提供しますので、

ご参考にいただければと思います。

他にご意見等はございますでしょうか。何でもこの場で言い残したこと等がございましたら述べていただければと思います。

(中嶋委員)

文書(もんじょ)の調査に参加できなかったのも、この場で改めてお伺いしたいと思うのですが教えてください。写真の文字を見る限りこれが昭和のものなのかなって思うような文字がいっぱいあるのですが、相対的に古いものというのは、どのぐらいの時代のものだったのか、一番多いものがどの時代のものだったのかというのを一つ教えていただきたいと思います。

あともう一点は、同じタイトルの演目で、今やっているものと内容がだいぶ違うのか、それともほとんど同じ状況を保ってやっているのかというのを2点お伺いしたいと思います。

(中村副委員長)

写真は撮ったのですけれども、年代が書いてないのがいっぱいありますので、いつのものというのははっきりわかりませんし、多分、まだ事務局の方でも整理がついてないと思うので年代についてはどれぐらい古いものまであるのかというのは現段階ではわかりません。

それから内容もそのとおり、これから全体の写真を撮って、全部揃えて比較してみないとわからないことなので、今の段階では何とも言えない段階です。ですから早急に写真なりコピーなりを取っていただくのがやはり一番早いのかなという気はしております。

(大谷津委員長)

ペラペラと見ると、大正5年の組合出入りとか、大正のものとかもあつたりします。どのあたりまでというのは今後の成果を少し待つ必要があるのかなというふうには思いますけれども、整理できれば報告書に反映できていいなというふうには思います。

もう一つの質問は何でしたでしょうか。

(中村副委員長)

現在の台本とこの書かれている内容と同じなのかどうかということですが、これも今の段階ではわかりかねる面がありますので、この間見た感じではお答えができません。

ただし、年代幅は結構ありそうな気はします。それから文字の書き方を見ても、何人かにわたって書かれているので、その辺もまだ整理がついていない状態ですので、

これを整理していけば、大体の年代とかあるいはいつ頃書かれたのかがわかるのではないかなという気はします。

(大谷津委員長)

ざっと見たところ、直接上演したかどうかというところもわからないようなものも含んでいるのではないかなと。江戸時代の版本らしきもので、多分そのままはしてないかなというようなものもありますから、そのあたりからですね。

どういう内容の演目をやったのかどうか。でも台本としてはどういうものが残っているのか。その辺りの区別です。これから整理が進めば、見えてくるかなというふうにして期待をしておるところでございます。

だから、みんなで作った方がいいかなという感じがしますね。

(伊藤課長補佐)

事務局から保存会さんにお聞きしたいのですが、今、台本はどういう感じで使っているのですか。上演される演目の台本は、コピーか何かであるのですか。

(菊池委員)

今、保存会で使っている台本は、一番最初はこの写真にあるようなものでやりました。でも、私は全く読めませんが、40年前に我々は始まったわけですが、その頃には常次郎さんと一緒にやった人がまだおまして、その人が台本を読んでくれて我々はその今このような台本に仮名をふってそれで覚えました。でも、今、新しく入った人たちには新しくパソコンで打って台本を作っています。

(下林委員)

私が台本を作っています。

(伊藤課長補佐)

会長さんとかが入られた40年前に仮名をふった台本をもとにして、今、下林さんがワープロで、新入会員向けの台本を新しく書き起こしているというか、作っている感じなのですね。

(菊池委員)

今、我々が使った台本がないかなと思って探していたのですが見えないですね。40年前に入って今も残っている団員が3人いるのですが、その人たちが持っているのはあります。こんな感じの江戸文字というか歌舞伎文ではないけども、全く私達には理解できない文字なのですが、それに仮名をふって練習しました。

(伊藤課長補佐)

その40年前のもを見せていただいて、写真を撮らせてください。お願いします。

(大谷津委員長)

今の台本もぜひ必要だとは思いますが。あとは40年前にやっていらっしゃった方に聞き書きですね。習得の方法であるとか、使い方であるとかをぜひ、聞き書きをしておいていただくと、そのまま資料として載せることも可能だと思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

他に先生方いかがでしょうか？

(松橋委員)

昨年、公演の方にお邪魔させていただいたときに感じたのが、この報告書の中でも舞台装置についてはもちろん触れると思うのですが、舞台ももちろんですがそれを含め伝承館全体についても、やはり記録を取っておいた方がいいのかなと思ひました。

伝承館も常次郎さんが建てられた建物なのですよ。歴史的にもそういった面でも記録を取りたいなというふうには考えております。

(大谷津委員長)

これは漏らしてはいけないというようなことがあれば、ぜひ言っていただいて、目次構成を考へるときに、ここでぜひ書いてくださいみたいな指示を出せるので、皆さんご意見いただければというふうには思ひます。

伝承館のその古い写真とかもあるといいですけどね。古い時代に集まっているような写真とか、そういったものが出てくるといいなと思ったりもします。

他に先生方、いかがでしょうか？もし出尽くしたということであれば、今のここまでのお話を踏まえて、オブザーバーのお二方からご意見等、お伺ひしておきたいと思ひます。それでは、文化庁の橋本調査官からご意見頂戴できますでしょうか。

(橋本文化庁調査官)

昨年度から実際に調査に着手していただいて、新たな資料が出てきたということが非常に大きな収穫であったと思ひますし、今日はそこをまず一つのスタートとして非常に具体的な協議を展開していただいて、大変興味深く拝聴いたしました。

また同時に、資料が出てきたことや様々な観点が見えてきたことで課題も見えてきたところかと思ひます。気になったところは本当に皆様からのご意見をいただいてご協議いただけたと思ひております。

本事業は全体では令和6年度から9年度という4年間の事業になりますけれども、次年度からは国庫補助事業を検討されているということで、そうしますと令和8年度

からの2か年計画というふうになります。もう令和9年度には報告書にまとめていただくこととなりますので、完成形といいますかゴールをなるべく具体的にイメージしながら、そこから逆算して進めていけたらというふうに思います。

大谷津委員長の方からもお話をいただきましたように、今日はそうした意味でも現段階で、目次案を練りながら役割分担を決めていただくということはとても大事な一歩だと思います。また、これから事業計画の提出に向けて詰めていかなければならないところがたくさんあると思いますので、そうした具体的なスケジュールであったり、先ほど事務補助員の人をお願いしたらどうかというふうなアイデアもいただきましたけれど、そういった必要な人員のことであるとか、本当に気になることがあれば、この場で何でもご意見を出していただければというふうに思います。以上です。

(大谷津委員長)

報告書は200ページのボリュームだったと思いますので、ページ割りもありますし、200ページでいけるかどうかというところもありますので、具体的に考えさせてもらってご提案を差し上げたいと思います。

次に岩手県教育委員会の大沢さん、よろしくお願いいいたします。

(大沢県教委主任指導主事)

今年から担当させていただきますので、よろしくお願いいいたします。今日、初めてこちらの方にお邪魔させていただきましたけども、勉強しながら私も補助事業の方のお手伝いできればと思いますので、ぜひよろしくお願いいいたします。

(大谷津委員長)

それでは進行を事務局にお返ししたいと思います。

(伊藤課長補佐)

大谷津委員長、スムーズでまた的確な進行をいただきまして大変ありがとうございました。

雲をつかむような内容だったのですが、おかげさまでだいぶ中身が私も見えてきてよかったなと安心しているところです。委員の皆様も活発なご協議と必要なお意見をくださりましてありがとうございます。

それでは、次、4のその他に移らせていただきます。皆様から何かございますでしょうか。

無いようですので、事務局から連絡事項を述べさせていただきます。

(4) その他

(佐々木係長)

次回の調査委員会の日程になります。(1)のところでも触れさせていただきましたが、次の委員会を年が明けた2月頃に予定してございます。逆に言うと、2月までは調査委員会を開く予定は考えておりませんでしたので、今日、ご協議いただいた中で、まずは大谷津委員長に構成目次の原案を作成いただけるというところで、大変ありがとうございます。お願いいたします。事務局としましては、早急に文書(もんじょ)類の写真記録やコピーを取らせていただきますのと、資料とかの収集も進めたいと思っております。

それで秋口以降であるとか、具体的に各委員の皆様が調査いただけることになった場合は事前にご連絡いただければと思います。把握しておきたい部分もございましたし、調査の報酬というところでお金の部分もございましたので、事前にご連絡いただく、あるいはこちらからも委員の皆様個々に動きのところを確認させていただく連絡をすることもあるかと思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。事務局からは以上になります。

(伊藤課長補佐)

よろしゅうございますでしょうか。その他、言い残したことがなければ、閉じさせていただきます。

(意見・質問等なし)

(5) 閉会

(伊藤課長補佐)

それでは、以上をもちまして令和7年度第1回倉沢人形歌舞伎調査委員会を閉会いたします。皆様、本日は大変ありがとうございました。